

ちょっと考えてみませんか？

「多様な性について」

みんなちがって
みんないい…

身体の性と、自分で認知する心の性(性自認)が一致しない人がいることを知っていますか？

多くの人はそれぞれの性について、単純に「男か女のどちらか」だと考えているかもしれません。また、社会でもそれが当たり前であると考えられてきました。

でも、実際には、身体と心の性別に違和感や不一致感がある人、異性を好きになるのと同じように同性を好きになる人などさまざまな人がいます。

しかし、「社会での当たり前」の中で、「なぜ、自分の身体が女性(男性)なの？」「なぜ反対の性に生まれてこなかったの？」と悩み、排除・差別され苦しんでいる人たちがいるのです。

LGBT(性的マイノリティ)とは・・・

- 「L」がレズビアン(女性同性愛者)、「G」がゲイ(男性同性愛者)、「B」がバイセクシュアル(両性愛者)、「T」がトランスジェンダー(身体的性別と性自認が一致しない人)それぞれ4つの頭文字で、性的少数者の総称です。

引用：NPO法人性同一性障害支援機構

あなたの身近にも・・・

- 電通ダイバーシティ・ラボの「LGBT調査2015」によるとLGBTを自認する人は人口の7.6%に当たるといわれています。
- 文部科学省が2013年度に行った、性同一性障がいに係る全国調査によると、小・中・高校の児童・生徒に少なくとも606人在籍していることが分かりました。文部科学省は性同一性障がいの児童生徒に対する学校での対応例をまとめ、今年4月に全国の教育委員会などに通知しました。福岡県内の小学校でもLGBTに関する学習を授業に取り入れる動きが広がっています。

性同一性障がいとは・・・

- 医学的な疾患名。身体的な性別に不快感、違和感をもつことで、中には身体を変え、反対の性で生きることを望む人もいます。

一人ひとりがみんな大切な存在です。
一人ひとりのちがいを認め合いだれもが
平等に幸せに生きていける社会を目指して…

当事者の思いを知り理解を深めていきましょう。

●問合せ先 人権教育啓発センター
☎ファクス80-1080

